

神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond 開催決定！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)は、神戸・六甲山上を舞台とした現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond」の開催を決定しました。今回はこれまでより会期を延長し、**2025年8月23日(土)～11月30日(日)**の計100日間、開催します。

六甲山の自然とアート作品を楽しみながら、会場となる各施設それぞれの魅力もお楽しみいただけます。
なお、アーティスト情報などの詳しい開催内容については今後、決定次第お知らせします。



アートワーク: 中村萌 『Like a Bird』

■「神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond」開催概要

【会 期】 2025年8月23日(土)～11月30日(日)

【会 場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園、六甲ガーデンテラスエリアなど

【主 催】 六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【資料に関するお問い合わせ先】

六甲山観光株式会社／神戸六甲ミーツ・アート事務局

広報担当：岡本、森下

TEL:078-891-0048 (平日 9:00～18:00) 広報用携帯電話:090-7104-3645

E-mail:press@rokkosan.com

■ビジュアルのアートワークについて

アーティスト: 中村 萌

1988 年 東京都生まれ

2012 年 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻修了

主に楠の丸太から造形を彫り出し、油絵具で彩色して、自身を投影した不思議な姿の作品を作り続けています。ドローイングをもとにして生まれる作品は、初期衝動的なダイナミックさを残しながらも、鑿跡(のみあと)は上品さを増し、作品の強度を見せています。中村の作品たちの曖昧な表情と感情は、観る人が自身の記憶を通し作品と作家の世界観にそれぞれの形で共感する事ができ、それが国籍を問わず多くの人を惹きつけています。



【主な個展歴】

「Like a Garden」(2023 年 銀座 蔦屋書店)、「four whereabouts - 私たちの行方 -」(2021 年 ポーラ ミュージアム アネックス)、「GROWTH」(2020 年 華山 1914 文創産業園/台北)など。

■参加アーティスト発表(第1弾) ※50音順

北川太郎、佐藤圭一、さとうりさ、さわひらき、高橋瑠璃、中村萌、西田秀己、船井美佐、三梨伸、WA!moto. “Motoka Watanabe” [撮影: 高嶋清俊]



さとうりさ 《こはち》



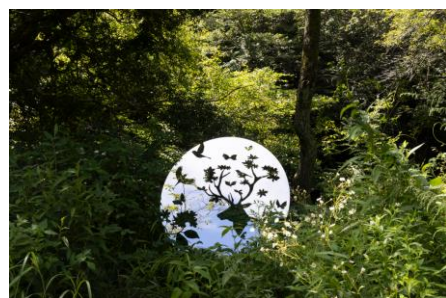
高橋瑠璃 《2 人の秘密の間を過ごす》



西田秀己 《fragile distance A-A', B-B', C-C'》



さわひらき 《shadow step》



船井美佐 《森を覗く 山の穴》



三梨伸 《プリンセス ドリアンとその一族》